

講師

山田 和樹氏

第51回(2009年)フザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラツソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。以降、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ドレスデン)、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、エーテポリ交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団など世界の主要オーケストラに客演を重ねている。2017年にはベルリン・コーミッシェ・オペラーで《魔笛》、モンテカルロ歌劇場で《サムソンとデリラ》を指揮して高い評価を得るなど、オペラの分野でも活躍。2014/2015年にアメリカ・デビュー、2015/2016年にはオセアニア・デビュー。2021年にはサンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団デビュー、2022年6月にはフシントン・ナショナル交響楽団デビューを成功させ、いずれも再客演が予定されている。

本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表するマエストロである。ベルリン在住。東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。



受講申し込みはこちらから



# 音楽とは何か ～音楽家としての生き抜き方～

社会連携センター特別講座

日時

2023/1/12 木 18:00-19:30

定員

250名

※東京藝術大学に所属する学生・教職員対象

会場

東京藝術大学 音楽学部 5-109講義室

社会連携センター特別講座とは  
最前線で活躍されているさまざまな分野のアーティストによる「藝大生に期待するもの」を共通テーマとするレクチャーを通じて、学生自身が社会で活躍するために必要な要素を主体的に掘り下げていくことを目的とする藝大生対象のオムニバス形式の特別講義。

主催・制作：社会連携センター  
<https://sharen.geidai.ac.jp>

※今後のCOVID-19感染状況やその他都合により変更・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

©Zuzanna Special